

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会 感染症解析評価部会]
(平成13年9月解析分)

1 疾患別定点情報

定点把握(週報)四類感染症

平成13年8月分(7月30日~9月2日:5週間分)

疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	0	-	0.00		12	麻疹	38	0.10	0.13	↓
2	咽頭結膜熱	260	0.70	0.26	↗	13	流行性耳下腺炎	455	1.22	0.85	↖
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	115	0.31	-	↓	14	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.04	
4	感染性胃腸炎	753	2.02	1.04	↘	15	流行性角結膜炎	186	2.33	1.97	→
5	水痘	215	0.58	0.54	↘	16	急性脳炎	4	0.05	-	
6	手足口病	343	0.92	0.85	↘	17	細菌性髄膜炎	0	-	0.04	
7	伝染性紅斑	120	0.32	0.16	↓	18	無菌性髄膜炎	17	0.20	1.60	↘
8	突発性発疹	330	0.88	0.80	↖	19	マイコプラズマ肺炎	16	0.19	-	↖
9	百日咳	8	0.02	0.04		20	クラミジア肺炎	0	-	-	
10	風疹	12	0.03	0.07	→	21	成人麻疹	1	0.01	-	
11	ヘルパンギーナ	619	1.66	1.30	↓	「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)					

急増減	増減	微増減	横ばい
↑	↗	↖	→
↓	↘	↘	
前月と比較しておおむね1:2以上の増減	前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減	前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	殆ど増減なし(発生件数少数のものを含む)

定点について

定点情報は、定点把握対象の四類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について、県内186の定点医療機関からの報告を集計して作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD 定点	基幹定点	合計
対象疾患 No.	1	1~13	14, 15	22~25	16~21, 26~28	
定点数	44	75	20	26	21	186

8月20日(第34週)からは74

この情報は、「<http://www.pref.hiroshima.jp/fukushi/kenkou/kansen/index.html>」のホームページに掲載しています。全国情報については、「<http://idsc.nih.go.jp>」に掲載されています。

疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
22	性器クラミジア感染症	59	2.27	1.88	⇒	26	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染	160	7.62	-	↗
23	性器ヘルペスウイルス感染症	14	0.54	0.67	⇒	27	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	24	1.14	-	↘
24	尖圭コンジローム	12	0.46	0.2	↗	28	薬剤耐性緑膿菌感染症	8	0.38	-	
25	淋菌感染症	36	1.38	1.00	⇒	「過去5年平均」：過去5年間の同時期平均（定点当り）					

A群溶血性レンサ球菌感染症 急減（7月195件 8月115件）
 伝染性紅斑 急減（7月200件 8月120件）
 ヘルパンギーナ 急減（7月2,452件 8月619件）
 麻疹 急減（7月98件 8月38件）

2 一類・二類・三類感染症及び全数把握四類感染症発生状況

一類感染症 発生なし
 二類感染症 細菌性赤痢2件発生（広島地域保健所管内 フレキシネル3a，広島市 ゾンネ 相）
 三類感染症（腸管出血性大腸菌感染症） 26件発生（O157 21件，O26 5件）
 （広島市O157 10件・O26 5件，福山市O157 5件，広島地域保健所管内O157 3件，
 芸北地域保健所管内O157 1件，福山地域保健所管内O157 1件，備北地域保健所管内O157 1件）
 全数把握四類感染症 8件発生（急性ウイルス性肝炎4件（A型2件，B型2件），
 後天性免疫不全症候群1件，
 梅毒1件，バンコマイシン耐性腸球菌感染症1件，ライム病1件）

3 O157などの腸管出血性大腸菌感染症発生状況

9月2日現在で79人の方がO157などの腸管出血性大腸菌感染症にかかっています。
 昨年同期（93人）と比較して人数は少し減っています。
 幸い軽症の人が多いですが，23人が血便を呈し，22人が入院し，3名（9才女，2才男，
 3才女）がHUS（溶血性尿毒症症候群）を発症しています。
 集団感染事例は，2件発生しています。（三次市の保育所 O26に9人感染，広島市の
 託児所 O26に5人感染，いずれも二次感染によるものと推定）
 また全国でも，7月下旬以降，奈良県，埼玉県等における患者，死者等の発生を始め，発生
 が増加しており，9月2日現在の患者・感染者数は3,311人となっています。

広島県内の腸管出血性大腸菌感染症発生状況

（保健所別・血清型別）

（人数，平成13年1月～9月2日）

保健所別血清型別	広島	呉	芸北	東広島	尾三	福山	備北	広島市	呉市	福山市	合計
O157	8		3	1	4	1	4	26		14	61
O26							9	7			16
O111	1										1
OUT									1		1
合計	9	0	3	1	4	1	13	33	1	14	79

（月別）

（人数，平成13年1月～9月2日）

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
6	2	6	2	8	10	15	26	4	79